

会 議 録

会議の名称	平成26年度所沢市立学校給食センター運営委員会
開催日	平成26年7月11日(金) 10時~12時
開催場所	所沢市立第1学校給食センター 会議室
出席者の氏名	岩淵賢一・平塚俊夫・栗原悦子・須田昭仁・大原隆広・五十嵐利也・柳内仁・松坂由香・前野直弘・菊池義信・橋本千恵子・手嶋栄子・田中紀久子・鈴木真澄・藤野良介
欠席者の氏名	柳下高明・秦 優子・須田雅美
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 平成25年度 学校給食センター運営概要について 学校給食センター実施状況 施設・設備、食育指導、地場産野菜使用状況 学校給食費決算報告 (2) 平成26年度 学校給食センターの運営について 学校給食運営計画 年間給食計画 学校給食用物資規格及び納入指定業者 (3) その他
会議資料	次 第 平成26年度所沢市立学校給食センター運営委員会資料 学校給食衛生管理マニュアル(平成26年度版) 所沢市物資規格書(平成26年度版)
担当部課名	保健給食課 : 04-2998-9249 第1学校給食センター : 04-2949-3740 第3学校給食センター : 04-2942-2972 学校教育部 部長 川音孝夫 保健給食課 課長 師岡 林・主査 吉田 茂 主査 杉本恵美・栄養士 田中ゆり子 第1学校給食センター 所長 二上清治・県主任(栄養士)高田涼子 第3学校給食センター 所長 市川元広・主査(栄養士)鹿島陽志美

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
保健給食課 杉本主査	（１）平成２５年度学校給食センター運営概要について 平成２５年度学校給食センター実施状況 （稼働日数、給食費、センター職員数、実施人員、実施回数） 承認
保健給食課 杉本主査	平成２５年度施設・設備、給食指導、地場産野菜使用状況 承認
第１・３学校給食センター所長	平成２５年度学校給食費決算報告 承認
大原委員	質疑内容
保健給食課 杉本主査	センターの稼働日数と各学校の給食日数の差はどうして起きるのか？ 稼働日数は、給食センターが稼働している日数で、給食センターは、何校も受け持っているの、１校が行事等で欠食でも他の学校があれば、たとえ１校でも稼働させるので、給食センターの稼働日数の方が多く、各校の給食日数の方が、行事等で欠食する日があるので少ない。
大原委員	決算報告者の監査委員名の後に印影が無いのはどうしてか？
保健給食課 杉本主査	個人情報の関係で資料には印影を出していないが、実際の原本では、認印をもらっている。
大原委員	資料に印影を出さない場合でも、資料としてきちんと出すのであれば、「印影省略」と入れてはどうか。
保健給食課	検討します。
保健給食課長	（２）平成２６年度学校給食センターの運営について 学校給食運営計画
	平成２６年４月より消費税増税分の値上げを行った 小学校 ４，２１０円 中学校 ４，９３０円 承認
第１学校給食センター 高田栄養士	年間給食計画 承認
第３学校給食センター 鹿島栄養士	学校給食用物資規格及び納入指定業者 承認
平塚委員	質疑内容 学校では、授業時間を確保するために夏休みを早めたりしているが、給食日数ももっと増やすことは可能か？
保健給食課長	すでに、小学校では１９５回・中学校では１８７回を確保し、夏休みの始めと終わりにも２日間給食が実施できるように増やしてある。あとは学校の実情で給食回数の範囲内（小学校１９５回・中学校１８７回）で回数を増やしてほしい。

柳内委員	給食センターで調理に携わっている人数は資料でわかったが、単独調理校では、どのくらいの人働いているのか？
保健給食課長	各学校の児童数によっても調理員の人数も変わるが、平均して1校10名くらいの人働いている。
柳内委員	給食時間が少ないという話を聞くが実際どうなのか？
平塚委員	中学校では、逆に給食時間が長いと、食べ終わってしまった生徒を待たせておくのが大変という話がある。また、中学生の実際の生活の中ではあまり短いとは思わない。
岩淵委員	小学校では、中学校より給食時間も長く取っているの、おちついて食べる時間は確保できている。しかし低学年は個人差も多く、子どもによっては時間内で食べ終わらない子どももいる。
栗原委員	2年生を担当しているが、1年の時より子どもたちにも余裕ができて、10分で配膳、20から25分食事、10分片づけで丁度良い時間になっている。
田中委員	しかし、子どもから給食時間が短くて食べられなかったと聞くことはある。ある自治体で給食時間を伸ばしたら、残菜が少なくなったと聞いたことがある。また朝食時間と昼食時間の間も長すぎるので、検討していただけないか。
平塚委員	時間割の設定は、すべての時間にゆとりを持たせすぎると、終わりの時間が遅くなってしまうので、給食時間も含めてその他の時間も加味しながら考えていく必要があるが、校長会でも検討してみたい。
田中委員	三つの点について質問をしたい。 来年度から3学期制になって、給食回数はどうなるか？ 今後消費税が増税された時にも給食費の値上げはあるのか？ 冬場インフルエンザの流行時には、給食時間の机の配置をテーブル形式から講義形式に変えるように考慮できないか？
保健給食課長	来年度3学期制になっても、給食の稼働回数を変えることはないが、給食回数については、各校の実情で検討することになります。
保健給食課長	今後の給食費については、軽減税率や物価の変動等を考慮して決定するので、値上げについては、現時点では未定です。
平塚委員	各校とも風邪などの流行等その時折の対応で、机の配置等も考慮して工夫している。今後校長会等でも話題にしたい。
大原委員	残菜の量はどのくらいか。また減らす工夫はしているか？
保健給食課 杉本主査	残菜率は、市全体で10%程度であるが、年々減る傾向にある。
高田栄養士	献立をたてる立場では、子どもたちの様子を見たり、意見を聞いたりしている。子どもたちが嫌いな食べ物でも、子どもたちに食べてほしい献立は、味を変えたり、調理法を工夫したりしながら、多少残菜は出ても献立にのせて食べ慣れてほしいと考えている。

<p>保健給食課長</p>	<p>(3) その他</p> <p>学校給食の整備は、単独校化の方針が耐震工事で中断していた。さらに単独校を今後整備するのは理想ではあるが、年数もかかるし調理室の建設ができない学校もある。しかも、給食センターも老朽化が進んでいる。現在は、給食センターの負担を減らすため、既存の施設を改修して近くの中学校の給食も一緒に作る親子方式を進め、現在和田小と安松中、10月から南小と南陵中、来年度からは、柳瀬小と柳瀬中の整備している。</p>
<p>平塚委員</p>	<p>地産地消、防災の拠点なども考慮して是非親子方式を進めてほしい。また、北野小・中などの近隣の学校での親子方式を検討に入れて進めてはどうか。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>単独調理校は、食育の面でも大変優れている。親子方式で中学食育もできるのなら、小・中一貫した食育が望まれるので親子方式での給食の整備をしてほしい。</p>
<p>須田委員</p>	<p>安松中のPTA会長をしているが、親子方式になり評判は良いが、小、中同じメニューでは、量が少ないという意見もある。</p> <p>給食センターの物資選定委員会に出席したが、給食関係者の熱心な対応に感謝している。</p>
	<p style="text-align: right;">以上</p>
	<p>尚、所沢市立学校給食センター運営委員代表として下記会長に 会議録の確定を得るものである。</p> <p style="text-align: right;">所沢市立学校給食センター運営委員会 会 長 菊 池 義 信</p>